

2026 年 7 月 16 日

各位

国立大学法人 静岡大学
丸石製薬株式会社

**丸石製薬株式会社と静岡大学教育学部、尼崎市に「防災×感染対策」紙芝居を寄贈
～地域の子どもたちの防災意識向上と感染対策に貢献～**

丸石製薬株式会社（本社：大阪市鶴見区、代表取締役社長執行役員：井上勝人、以下「丸石製薬」）と国立大学法人静岡大学（静岡市駿河区、学長：日詰一幸、以下「静岡大学」）は、共同で制作した「防災×感染対策」の紙芝居『かんせんレスキューシズマルーズ ようちえんにやってきた』を、2026 年 5 月 22 日に尼崎市に寄贈しましたことをお知らせいたします。

丸石製薬と静岡大学は、2024 年より連携し、子どもたちが楽しく防災と感染対策について学ぶことができる紙芝居の制作と、地域での読み聞かせイベントを通じて、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援してまいりました。これまでも、大阪府内のこども園や静岡県内の防災イベントなどで紙芝居の読み聞かせ活動を実施し、多くのご好評をいただいております。



2026 年 5 月 22 日、尼崎市市長室にて。

（写真左から）丸石製薬広報担当者、松本市長、藤井教授、丸石製薬感染対策コンシェルジュ担当者

寄贈には静岡大学教育学部藤井基貴教授と以前から交流がある、松本眞（まつもと しん）尼崎市市長、丸石製薬感染対策コンシェルジュの三者の立ち合いで行われました。寄贈された紙芝居は、感染対策の基本知識を子どもたちにもわかりやすいストーリーとイラストで描いており、教育現場や地域での読み聞かせを通じて、災害時における感染症対策の普及・啓発に役立ててほしいという願いがこめられています。尼崎市では、この紙芝居を地域の保育園

や各種防災イベントで活用していただくことで、子どもたちの防災意識の向上と、日常的な感染対策への理解促進に役立てていただくことを期待しております。

丸石製薬は、「人々の健康と福祉に貢献する」という企業理念のもと、医薬品の提供だけでなく、地域社会への貢献活動にも積極的に取り組んでおります。静岡大学教育学部との連携による「防災×感染対策」紙芝居プロジェクトは、その一環であり、今後も地域との連携を深め、子どもたちの健やかな未来をサポートしてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】	
国立大学法人静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 sangakucd@adb.shizuoka.ac.jp	丸石製薬株式会社 広報グループ public_relations@maruishi-pharm.co.jp

【寄贈概要】

寄贈品：紙芝居『かんせんレスキューシズマルーズ ようちえんにやってきた』25冊

寄贈予定先： 尼崎市内の公立保育園をはじめとする教育支援施設

寄贈日： 2026年5月22日

目 的： 尼崎市の子どもたちの防災意識向上と感染対策の普及

国立大学法人静岡大学教育学部藤井基貴研究室について

静岡大学教育学部藤井基貴研究室は、教育学（教育哲学・教育史・道德教育）を専門とする藤井教授が主宰する研究室です。東日本大震災をきっかけとして教職を目指す学生たちと共に防災教育の教材・授業開発を展開しており、優れた防災教育を顕彰する兵庫県等主催「1.17 防災未来賞」（ぼうさい甲子園）では6回の「ぼうさい大賞」を含む、12回の受賞歴があります。2022年には同研究室卒業生及び慶應義塾大学大木聖子研究室と一般社団法人BOSAI Edulabを共同設立し、ユース災害ボランティア基金を発足するなど災害復興支援も行っています。

国立大学法人静岡大学の詳細情報は、<https://www.shizuoka.ac.jp/>をご覧ください。

藤井基貴研究室の詳細情報は、<https://wpp.shizuoka.ac.jp/emfujii/>をご覧ください。

丸石製薬株式会社について

丸石製薬株式会社は、1888年に日本薬局方医薬品（ベーシックドラッグ）メーカーとして創業しました。創業130年を超える歴史のなかで培ってきた技術や知識・ノウハウを活かし、患者さんのQOL向上を最大の目的として医薬品の研究・開発・普及を幅広く行い、医療に貢献しています。

近年では、周術期医療領域、感染対策領域、ベーシックドラッグ領域を事業基盤に、新たに急性期・救急医療や支持医療（がんサポーターシップケア）への展開も進めています。

丸石製薬株式会社の詳細情報は、<https://www.maruishi-pharm.co.jp/>をご覧ください。

感染対策コンシェルジュについて

丸石製薬株式会社が長年にわたり培ってきた感染症に関する知識やノウハウをもっと広く社会に役立てることを目的とし、2014年に誕生しました。一般の方々から感染対策の専門家の方々まで、さまざまな立場の方を対象に感染対策や消毒剤に関する正しい情報のご提供やご相談いただいた問題の解決への協力、感染対策の啓発、感染対策地域ネットワーク構築のお手伝い、医療・福祉・教育関連の機関への情報提供を実施しています。

感染対策コンシェルジュの詳細情報は、<https://www.m-ipc.jp/>をご覧ください。